



仮想テザー

コードレススキャナの可用性と医療従事者の生産性を最大化

コードレスのスキャナは、医療現場のワークフローに優れた利便性、柔軟性、操作性をもたらします。ただし、ワークステーションまたは他のホストにスキャナをつないでおかないと、置き忘れが生じる可能性があります。看護師が大忙しのシフト中に、スキャナをしばらく患者さんのベッドに置いたところ、そのまま洗濯に回されたというようなことになりかねません。医療従事者が病室から医療用カートを運び出し、スキャナを置き忘れてくるということもあります。見失ったスキャナを探す時間がわずかに数分だとしても、医療従事者の生産性と看護の質に悪影響を及ぼす可能性があります。

そこで、Zebraの仮想テザーをご利用いただくと、コードレスの医療用スキャナを簡単に追跡できます。この無償で柔軟なDataCapture DNAツールは、スキャナがベースから離れすぎたり、充電器から一定時間、外れていたりすると、医療従事者に警告を送ります。その結果、コードレススキャナは、常にあるべき場所にフル充電した状態で存在し、次のタスクに備えて待機していることとなります。スキャナの置き忘れや紛失によるダウンタイムは、もはや生じません。また、スキャナの追跡が容易になれば、スペアプールの規模を縮小できるので、ハードウェアコストが下がります。仮想テザーで医療用コードレススキャナの可用性を最大限まで高めてください。

メリット

デバイスの可用性を最大化

スキャナ紛失によるワークフローの中断を防止

スキャナが充電されていて使用可能な状態を維持

Bluetooth接続の切断によるダウンタイムを最小限に抑制

デバイス交換費用の削減

スペアデバイスプールの規模を縮小

仮想テザー - デバイスの可用性を最大化し、ワークフローの中断を防ぎます。
詳細についてはwww.zebra.com/virtual-tetherをご覧ください。

スキャナの紛失が発生しない

仮想テザーが有効な場合、スキャナがBluetoothの範囲を外れると、スキャナとクレードルが医療従事者に警告を送ります。スキャナがクレードルに戻る、アラームの有効期間が過ぎる、または医療従事者がアラームを無効にすると、アラームが停止します。アラームのコンビネーションを見逃すことはできないので、コードレススキャナを置き忘れそうになると、その事態が医療従事者にただちにわかります。

フル充電で稼働可能なスキャナの状態を確保

スキャナのバッテリー保護モードと仮想テザーを組み合わせると、バッテリーまたはPowerCapコンデンサの不足に起因するワークフローの中断を回避できます。スキャナがクレードルから外れていて、一定時間使用されないと、クレードルのLEDが点滅します。これがきっかけでスキャナがクレードルに戻ることで、効果があります。メリット スキャナが常に充電された状態で、次のタスクに備えて待機しています。さらに、バッテリーの不必要な摩耗を最小限に抑えることによって、仮想テザーはスキャナバッテリーの寿命を延ばすことができます。

接続が途切れることによって生じるダウンタイムを防止

スキャナがバッチモードで動作していない場合、仮想テザーは医療従事者がクレードルまたはホストデバイスの範囲外に歩き出さないうちに、スタッフに警告を送ることができるので、接続が途切れ、再接続が必要になった場合に生じる生産性損失がなくなります。

ナイトモードを使用すれば、患者さんの邪魔になりません。

スキャナをナイトモードにすると、仮想テザーのオーディオアラートは自動的に無効になりますが、視覚と触覚によるアラートは有効なままです。その結果、医療従事者は患者さんの邪魔をすることなく、昼も夜もスキャナを近くにとどめておくことができます。

あらゆるワークフローに対応する適切な構成

ワークフローのニーズに合わせて、仮想テザーを容易にカスタマイズできます。デバイスの無線出力を25フィートまたは250フィート¹のどちらかに設定することによって、仮想テザーの範囲を定義します。スキャナのLED、スキャナの照明、スキャナの触覚機能、スキャナの可聴音、クレードルの可聴音、クレードルのLEDを含め、スキャナとクレードルの通知に関して優先するコンビネーションを設定できます。²さらに、アラームの長さ、医療従事者がアラームを無効にする方法などをカスタマイズできます。

統合が容易

ZebraスキャナSDKにより、業務固有のワークフローや用途のニーズに対応できるように、仮想テザーの機能を拡張できます。たとえば、スキャナとホスト間の接続が切れた場合、看護師のデスクまたはIT部門に警告を送ることができます。また、仮想テザーは高度なレポートやアラートに対応する遠隔診断のログエージェント、シームレスな構成と導入に対応するスキャナ制御アプリやScan-to-Connectを含め、Zebraの他のソフトウェアツールと全面的に統合されます。

バーコードを超えるイノベーション

現在企業が直面する困難な問題を解決するにはハードウェアだけでは不十分です。全関係者のニーズに対応するインテリジェントなソフトウェアが必要です。そのためZebraのデータキャプチャデバイスは、Zebraの完全なスキャン機能を簡素化する遺伝子コードであるDataCapture DNAを内蔵。比類のないデバイス管理機能、現場の生産性を最大化するイノベーション主導の性能、より迅速で容易なアプリケーション開発を実現しています。

用途

仮想テザーは、下記をはじめ、医療現場の多種多様な設定において、スキャナの置き忘れによる影響を最小限に抑えることができます。

- ・ケア現場
- ・在庫
- ・薬局
- ・採血
- ・検査室

設定

仮想テザーはニーズに合わせて全面的にカスタマイズ可能です。

利用可能な通知²

- ・スキャナのオーディオ
- ・スキャナのLED
- ・スキャナの照明
- ・スキャナの触覚機能
- ・クレードルのオーディオとLED

アラーム設定

- ・アラームの長さ
- ・アラームが作動するまでの時間
- ・アラームを無効にする方法：スキャントリガーを押す、クレードルの呼び出しボタンを押す
- ・ナイトモード：スキャナをナイトモードにすると、オーディオアラートが無効になります（デバイスによる）

無線出力設定

- ・高
- ・中
- ・低

1. Bluetooth範囲は環境要因によって異なります
2. 利用可能な通知はスキャナのモデルによって異なります



ゼブラ・テクノロジーズ・ジャパン株式会社
〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-5-2 内幸町平和ビル14F
TEL 0066-33-821700 (フリーダイヤル) FAX 03-3580-8301

Zebra Technologies Asia Pacific Pte. Ltd.
182 Cecil St. #08-01 Fraser Tower, Singapore 069547
TEL +65-6858-0722 FAX +65-6885-0838